

# 東京・有明に新キャンパス 設置、グローバル化を加速

武蔵野大学学長 寺崎 修氏

## 八〇年以上の歴史を有する武蔵野キャンパス

本誌 武蔵野大学は東京の築地本願寺に創設されたのですね。

寺崎 本学は浄土真宗本願寺派の宗門関係学校で、関東大震災直後の一九二四年に築地本願寺で誕生しました。創立者は国際的仏教学者として知られ、文化勲章受章者でもある高楠順次郎博士です。女子教育の必要性と女性の社会進出を肯定的に考えた先覚者である高楠博士は「仏教精神を根幹とした人格育成」を理想に掲げ、武蔵野女子学院を設立しました。

その後、一九二九年に現在地の東京・西東京市に移り、一九五〇年に武蔵野女子短期大学を開校、一九六五年に前身の武蔵野女子大学が創立され、二〇〇三年に校名を武蔵野大学に変更し、翌二〇〇四年には全学部を男女共学化しました。こうして、すでに一九九九年に男女共学で設置した大学院、二〇〇二年に設置した通信教育部を含め、文・理・医療系学部と大学院を擁する総合大学となりました。なお、併設校に女子校の武蔵野女子学院中学校・高等学校が

あり、武蔵野女子短期大学部は二〇〇六年に廃止しました。

本誌 この一〇年余で学部学科が大幅に増設されましたね。

寺崎 創立当初は文学部の一学部でしたが、一九九八年に現代社会学部（現・政治経済学部）を加え、その後、一九九九年に人間関係学部（二〇一二年度から人間科学部に変更）、二〇〇二年に通信教育部、二〇〇四年に薬学部、二〇〇六年に看護学部、二〇〇九年に環境学部、二〇一一年に教育学部とグローバル・コミュニケーション学部を開設、現在では九学部（通信教育部を含む）に発展しており、学科数も二〇一二年四月には政治経済学部経営学科が開設されますので一一学科になります。さらに、大学院には言語文化研究科、人間社会研究科、薬科学研究科、政治経済学研究科、看護学研究科、環境学研究科、人間学研究科（通信制）の七研究科と別科一課程を設置しています。いずれの学部・研究科も専門分野で活躍する教授陣を集め、その内容は時代を先取りしたものになっています。私も週一回ですが、日本政治思想史を教えています。

大学が学術交流、学生交換協定校になつていますが。

寺崎 中国の西南大学と二〇一一年二月五日に学生交換契約書を締結し、本学の学術交流、学生交換協定校は同大学とサンフランシスコ州立大学（米国）、ビクトリア大学（カナダ）、マドリッド自治大学（スペイン）、サンシャイン・コースト大学（オーストラリア）、中国人民大学、中国海洋大学、天津外国語大学、大連外国語学院（中国）、漢陽大学、東国大学校、培材大学校、東亜大学校、釜山外国語大学校（韓国）、大仁科技大學（台湾）、ホーチミン市師範大学（ベトナム）、ミンダナオ国際大学（フィリピン）、ザグレブ大学（クロアチア）、マンガロール大学（インド、学術交流のみ）の一カ国一九校となりました。本学は建学の精神に基づいて、仏教思想に関する研究を行うとともに、広く仏教文化の興隆に寄与することを目的に仏教文化研究所を設置しています

が、とくに中国仏教では人間関係学部に権威といわれる西本照真教授がおり、中国人民大学などは中国仏教を学ぶため、本校を指名してきたほどです。また、西南大学は今井一洋

本誌 中国や韓国など多くの海外



寺崎修（てらさき・おさむ）氏

1945年生まれ。1968年・慶應義塾大学法学部政治学科卒業。1970年・慶應義塾大学大学院法学研究科政治学専攻修士課程修了。1987年・法学博士。専攻は日本政治史・日本政治思想史。1988年～1997年・駒沢大学法学部教授。1994年・武蔵野女子学院理事。1997年～2008年・慶應義塾大学法学部教授。2002年・福沢論吉協会理事。2008年4月・慶應義塾大学名誉教授。同年・武蔵野大学学長に就任。

副学長（薬学部）が同大学開催の国際学会で講演したことが協定締結の契機となりました。

**本誌** キャリア教育にも力を入れていきますね。

**寺崎** 学生に実践的な能力を身につけさせることを目指した教育改革の一環としてキャリア開発プロジェクトを展開しています。このプロジェクトは二〇〇三年度文部科学省「特色ある大学教育支援プログラム」（特色GP）に採択され、その後「専任教員によるキャリア教育の実践」（二〇〇七年度現代GP）により、さらなる発展を遂げ、二〇一〇年度の

全学的カリキュラム改革では次のステップとして「教養教育と専門科目におけるキャリア教育の浸透」を指しています。

**本誌** 二〇一二年四月に新キャンパスを東京・江東区有明に開設しますね。

**寺崎** 現在、臨海副都心・有明の約一万三〇〇〇平方メートルの敷地に新キャンパス「有明キャンパス」を建設しています。この東京湾ウォーターフロントの中心に位置する有明新キャンパスではグローバル・コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション学科、政治経済

学部政治経済学科、同経営学科、人間科学部人間科学科、環境学部環境学科の二年以上と大学院の言語文化研究科（言語文化専攻）、政治経済学研究科、人間社会研究科（人間学専攻）、環境学研究科の学生が学ぶ予定です。今後は、この有明キャンパスを中心に海外からの教員招聘国際社会への情報発信などさまざまな取り組みを一層進め、グローバル化を加速させていきます。

## 全学共通基礎課程・武蔵野BASISを導入

**本誌** 全学共通基礎課程「武蔵野

BASIS」を二〇一〇年度から導入しましたが。

**寺崎** 一年次生は武蔵野キャンパスで全学共通基礎課程「武蔵野BASIS」を全学部横断で学びます。

文・理・医療系のさまざまな志向性を持った学生が学部・学科の壁を取り払って学ぶことにより互いの視野が広がり、その後の学びに有機的なつながりが生まれます。武蔵野BASISには「心とからだ」「外国語」など四つの科目群があり、その中心となる基礎セルフディベロップメント科目では哲学や現代学など基礎教養七分野を学びます。本学は男女共学の総合大学としてはスタートラインに立ったばかりですが、創立者である高楠博士の理念は脈々と受け継がれています。仏教の根本精神である目覚め（awakening）、つながり（link）、ひろがり（growth）の三要素を根幹として、自己に目覚め、人格を陶冶し、次代を切り拓き、社会に貢献する人材を養成することが本学の使命で、学生に実践力と知恵を育むための知的リソースを提供し、価値創造ができ、グローバル社会で活躍できる人材の育成を図ります。